

星 空 ファ ク ト リ ー

～ ～ ～ 穏やかな共存共生をめざして ～ ～ ～

事務局:

〒955-0832

新潟県三条市直江町 3-8-28

電 話 0256-31-4840

F A X 0256-35-0692

e-mail: ssfl@mail2.ginzado.ne.jp

いつでもどこでも.....



昼でも.....



宇宙は一番身近な大自然



夜でも.....



現実とのギャップ



大気は汚れ、
街は明るく、
見える星も少
ない



情報が氾濫し、
ブラウン管の中
だけに現実とか
け離れた宇宙が
広がる



T V ゲームな
どバーチャル
な体験が安易
に持て囃され
る

世の中が便利になり過ぎて、宇宙や科学が別世界の出来事と思われがちです。
私たちの身近な事と宇宙や科学がどんな形で関わっているのかが判らないと、どんなに凄い技術や最先端な事でも、全く感動もなく実感ありません。

室内での学習を野外で生かす



宇宙・自然科学は実地体験も重要だ!しかし、前もって学習した方が、実物を見た時の感動はとても大きく、さらに興味や関心を持ってくれます。私たちはその環境作りとサポートに心がける事が良いと思います。



長岡市内小学校



旧栃尾市 旧入東小にて

里山の自然環境に触れ、街中では感じられない静けさやざわめきを感じ、闇夜の深さに触れ光りの温かさを知る合宿でした。

宇宙との関わりを体感・実感する

実験



夜光スライム合成実験



液体電池実験

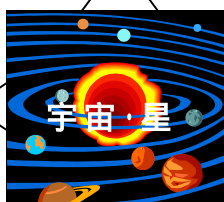
工作



LEDの星座工作



アクリル板の星座工作



天体観測



昆虫採集(太陽との関係)



観察

キャンプ



ナイトワーク
(夜の動植物)



体験

自主事業

H16 年

1月から4月 長岡市「こども星空科学史」
4月から11月 燕市「身近な自然と科学のつながり」
4月17日 長岡市「春の星座観測会」
5月1日 見附市「春の天体観測会」
6月8日 三条市「金星日面通過観測会」
8月15日 旧栄町「夏の星座観測会」

H17 年

4月から1月 燕市「自然と科学教室」
4月15日 燕市「春の天体観測会」
5月14日 旧栃尾市「春の天体観測会」
5月15日 旧白根市「春の天体観測会」



依頼事業

H16 年

5月21日 三条市立大島公民館「春の天体観測会」
5月29日 新潟市有明児童センター「天体観測会」
7月11日 燕市児童研修館こどもの森「光る星座盾を作ろう」
8月6日 旧西川町升潟地区教育学級わくわくクラブ「天体観測会」
8月4日 見附市今町公民館「科学と手作り体験教室」
8月20日 五泉市川東小学校「夏の星座観測会」
11月6日 旧吉田町「宇宙少年団」アクリル板工作

H17 年

6月11日 新潟市 Green Lovers Network「星を見る会」
7月9日 五泉市橋田小学校天体観測会
7月28日 見附市北谷公民館「サイエンス教室」
8月8日 長岡市坂之上小学校「坂之上学」
8月18日 加茂市公民館「夏の星座教室」
9月10日 燕市「風の子クラブ」天体観測会
10月30日 三条市第三中学校文化祭

共同・共催事業

H16 年・17 年

5月から11月 長岡市長岡高校 SSH「宇宙科学セミナー」
5月から11月 見附市中央公民館「ピタゴラスクラブ」
5月から11月 新潟大学教育人間科学部「教育実践体験研究」
12月 新潟県「青少年のための科学の祭典」

H16 年

5月から11月 見附市中央公民館「体験!星空浴」
6月 三条市中央公民館「アウトドア黄昏クッキング」
7月・8月 新潟水害被災者支援イベント
「暑さフツ飛ぶ科学の祭典」(全7校)

H17 年

1月から4月 中越大震災被災者支援イベント
「サイエンスキャラバン」(全25ヶ所)
7月から3月 宇宙航空開発研究機構「教材動画」制作



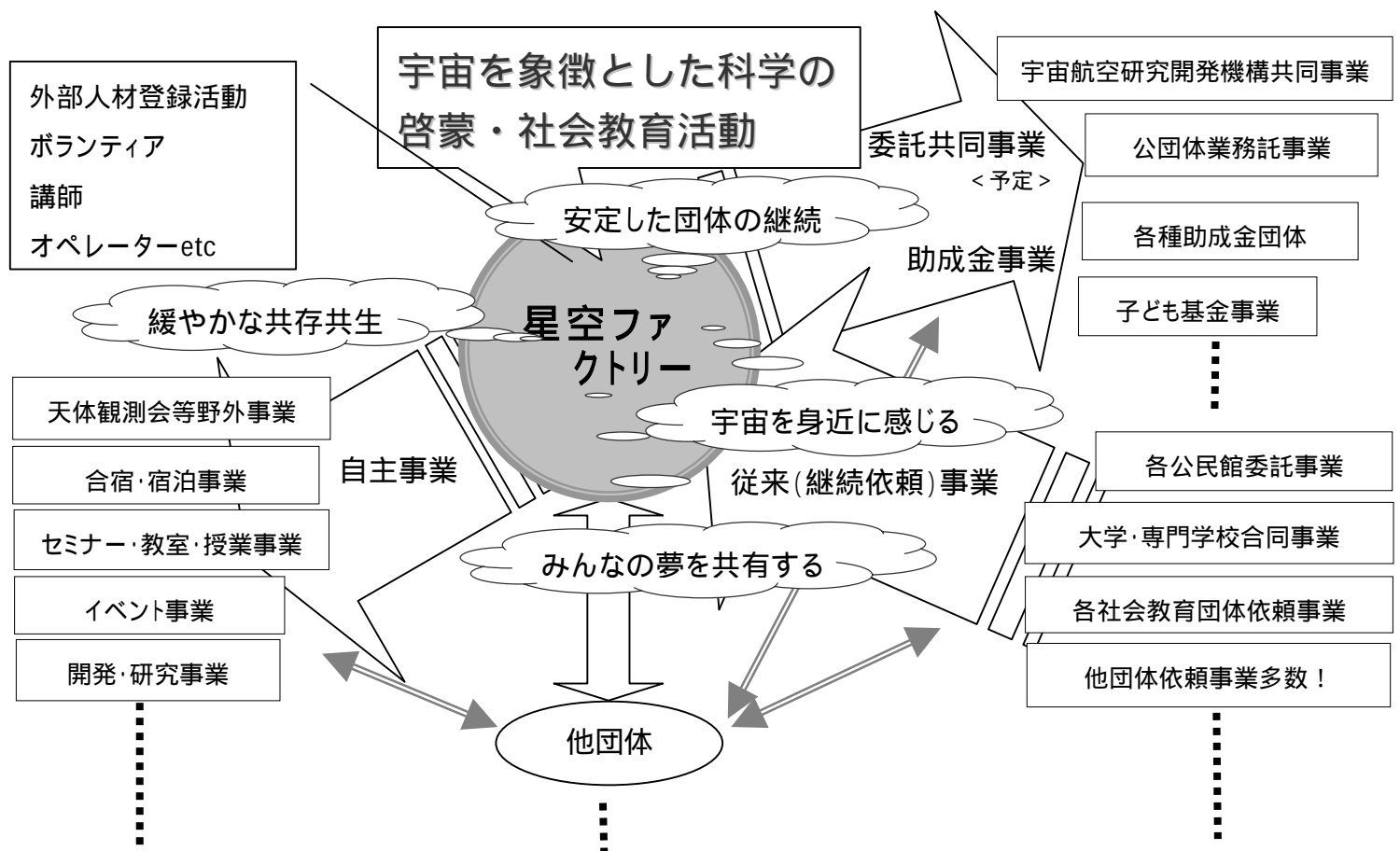
学校授業事業

H16 年

7月9日 燕市立燕南小学校4年生対象
7月 長岡市立川崎小学校4年生対象
9月 長岡市立浦瀬小学校4年生対象

H17 年

9月1日 燕市立燕南小学校4年生対象
7月9月1日 長岡市立宮本小学校4年生対象
7月9月1日 長岡市立下川西小学校4年生対象
10月 長岡市立浦瀬小学校4年生対象



何故？宇宙にこだわる？

昨今の「サイエンスのエンターテインメント化」によって「こどもの居場所作り」「こども体験教室」などの事業名でこどもの育成事業が数多く企画されていますが、趣旨が定まらない事業消化の傾向も見受けられます。学校関係においては、特に小学校の教員は理科系の職員は非常に少なく、教科書以外の事をなかなか教えられず、記憶させるだけの授業に陥り易い危険があります。

そこで、「宇宙」を素材として中心に置き、科学以外にも範囲を広げられる柔軟な教材として、目的をはっきりと据えた事業が展開を可能にします。

現実社会で実際に使われている科学技術の仕組みや原理との関連性の中で「本物」を体験することは、知的好奇心を刺激し科学に親しむ機会を創り出します。また、先端技術や科学を身の回りの事柄に置き換えて取り扱う事で、科学以外でも他の事との関連性を感覚的に知る事を養えます。

小学校区をコミュニティの最小単位として、「身近」を意識した提案や企画・運営を関連団体と共同・協力して進めたいと思います。「全ての事柄は意味があり、関わりがある」それが理念です。

各事業の料金体系は？

自主事業について

- * 基本的に参加費は無料です。
- * 各講座・教室で利用する教材・材料・資料等の費用のみ負担です。
- * 天体観測会などでは、春・秋は炭火(暖房用)やコーヒー・紅茶などを振る舞っています(もちろん無料です!)

依頼事業について

- * 基本は無料有償
- これまでの活動から、日本的風土に合わせて無料有償といたしました。
- 本来ボランティアは有料無償が基本ですが、まだまだこの精神は浸透していないと日頃の活動で痛感しています。
- ですから、全てにおいて無料(実費のみ負担)で応じます。しかし、全ての事に対して経費がかかるのは事実ですし、資金不足から活動が全く出来なくなってしまう事もあります。

有償とは、活動するにあたって成果を形として提示していただき、団体に関わっている者の意義を高め次へのステップにたいと言う意味です。

具体的には、参加者(子ども達など)の感想文・手紙、今後へのアドバイス・提言や協力などお金に替えがたいものも多くあります。

- * 各講座・教室、セミナーでの教材・材料・資料等の費用のみ負担です。

- * 天体観測会では、雨天・曇天プログラムも要望により準備いたします。

基本的に天体望遠鏡以外の設備については、要望により(事業計画書を参照)準備いたします。

- * やはりお金で...と言う事でしたら、各自治体の講師・指導者料金体系を参考にしてください。私たちは、料金設定についての判断は致しません。